

持続可能な物流の実現に向けた検討会
ポイント活用による物流負荷低減の取り組み

アスクル株式会社
2022年12月13日

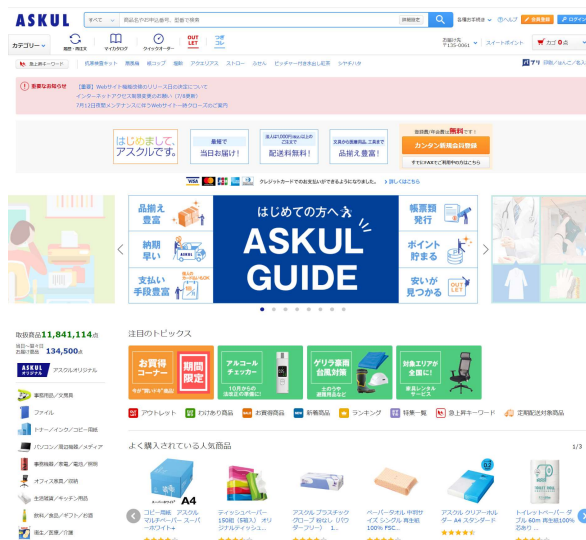


アスクルの 2 大事業

B to B 事業



事業所向け通販事業
(22/5期売上高 3,480億円)



B to C 事業



個人向け
インターネット通販事業
(22/5期売上高 706億円)

アスクル独自のEC物流

アスクル物流の特徴

全国当翌日配送を実現する物流基盤

高度に自動化された物流設備

自社グループ100%の庫内運営



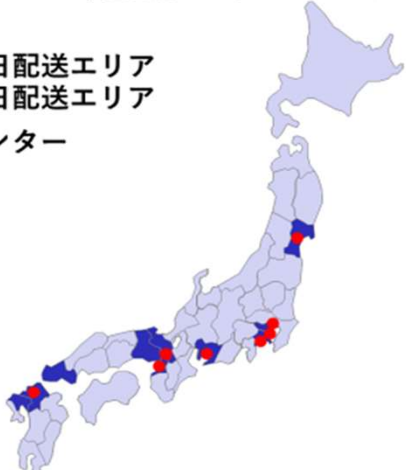
全国当日・翌日を実現する主要9センター



Copyright © ASKUL Corporation All Rights Reserved.

配送エリアとサービス

- 最短当日配送エリア
- 最短翌日配送エリア
- 物流センター



時間帯指定配送
※B2Bは有料
置き場所指定配送

当日配送・翌日配送エリア別
売上高比率



当社の強み

「商品企画・販売～物流」までを垂直統合



この強みを活かしてバリューチェーン全体のDXに取り組み
サステナブルなEC物流を目指しています

取組み紹介

アスクル物流における自動化・DX全体像

流通の川上から川下までの全体最適を物流設計の根幹に据え、マシンパワーとマンパワーを融合しながら、それぞれのプロセスのDXを推進することで、従業員の労働負荷軽減や無駄なコストを生まない物流を実現しています。



- バース：トラックバースの略。荷物の積み下ろしをするためトラックを駐停車しておくスペースのこと
- ASN：Advanced Shipping Notice(事前出荷通知)の略。サプライヤー等が、物流センター側に出荷情報(納品日、商品情報、数量など)を事前に通知すること
- SCM：Shipping Carton(Container) Markingの略。オリコン等に貼るバーコードのついた納品ラベル(SCMラベル)を指す。荷物の受け取り側が開梱しなくても、内容詳細や伝票番号等を確認できる
- EDI：Electronic Data Interchangeの略。電子データ交換のこと。企業間で発注書や受注書、納品書、請求書などの帳票のやり取りをネットワークを介して、電子データで行う

※アスクル統合報告書より転載

物流DX

「商品企画・販売・受注」における取り組み



ポイント活用による物流負荷低減施策

ヤフー×アスクル協業
LOHACO「おトク指定便」について

【おトク指定便】 実証実験の背景と目的

特定日の荷物量増加に伴う物流（出荷・配送）負荷を分散させることで
物流の安定確保や効率化といった物流業界におけるサステナブルな活動を実現する

